

## 各楽器の基礎奏法講座

フルート			
	入門・初級編	中級編	上級編
Step1	頭部管音出し・アンブシュア	呼吸法・ロングトーン	ウォーミングアップのロングトーンの再考
Step2	楽器組立・姿勢、構え方・簡単な音出し・片付け	ウォーミングアップ	ウォーミングアップ・ハーモニクスの練習 各音にびったりのアンブシュアを見つけるために
Step3	呼吸法・スケール(音階)	スケールとアルペジオについて	ヴィブラートのコントロール
Step4	スケール・スラー・テヌート・半音階	高い音・低い音について	スケールについて
Step5	低い音、高い音、ウォーミングアップ	ヴィブラートについて	タンギングのコツについて
Step6	スタッカート、簡単な小品	ダブルタンギング、小品について	ブリチアルディキー・Aisleバーについて エチュードとソロ曲の紹介
講師	<p style="text-align: center;">磯貝 俊幸 先生</p> <p>名古屋芸術大学音楽学部器楽科卒業。鳥居悦子、富久田治彦、高木直喜、P・マイゼン、白尾 彰の諸氏に師事。2000年、日本木管コンクール第3位。2002年、日本フルートコンクールびわ湖第2位、日本木管コンクール第1位。2004年、関西フィルハーモニー管弦楽団とイペールのフルート協奏曲を共演。2011年、2016年、セントラル愛知交響楽団定期演奏会にソリストとして出演。2015年、ソロアルバム『2つのソナチネ』リリース。2010年より10年間、セントラル愛知交響楽団契約団員を務める。全日本学生音楽コンクール審査員。金城学院大学文学部音楽芸術学科准教授。</p>	<p style="text-align: center;">大久保 成美 先生</p> <p>香川県立坂出高等学校音楽科、東京藝術大学音楽学部器楽科を経て同大学院音楽研究科を修了。第60回全日本学生音楽コンクール大阪大会第1位。第12回日本フルート・コンヴェンションコンクール・アンサンブル部門高校の部金賞。第16回日本フルート・コンヴェンションコンクール・ソロ部門入賞。第19回日本フルートコンヴェンションコンクール・ピッコロ部門、第1位。2018年度香川県文化芸術新人賞を受賞。 名古屋フィルハーモニー交響楽団首席フルート奏者。</p>	<p style="text-align: center;">橋本 岳人 先生</p>

# 各楽器の基礎奏法講座

## オーボエ

	入門・初級編	中級編	上級編
Step1	楽器の組立方・リードの準備 アンブシュアと呼吸法	呼吸法 アンブシュア リード奏法 ロングトーン	1 2音階をマスターしよう！(前半)
Step2	発音とロングトーン	リード奏法(中・高・低音域) タンギング	1 2音階をマスターしよう！(後半)
Step3	楽器の構え方・指のフォーム・ハーフホール	スケール・フィンガリング・スラー タンギング・スタッカート・テヌート	エチュードを活用しよう！
Step4	簡単なスケールと初心者に必要な替え指	ウォーミングアップ エチュード(ヒンケ)・フレージング	超高音を練習して息のスピードを上げよう！
Step5	半音階に挑戦してみよう！	エチュード(ヒンケ)を使って アーティキュレーション・跳躍・プレスコントロール	シングルタンギングや ダブルタンギングに挑戦してみよう！
Step6	初心者から正しいピブラートを。 音程をコントロールしよう！	裝飾音・ピブラート エチュード(ヒンケ)を使っての練習方法	オーボエの名曲に挑戦してみよう。
講師	<p>寺島 陽介 先生</p> <p>京都市出身。 相愛大学音楽学部在学中より大阪センチュリー交響楽団(現日本センチュリー交響楽団)客員奏者を務めプロとしての活動を始める。卒業後渡欧。オーストリア国立ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学卒業。在学中からザルツブルグ・ガーカンマーフィルハーモニーのオーボエ奏者を務め、数多いCD録音や演奏をヨーロッパ各地で演奏後5年間のヨーロッパ生活を終え2002年名古屋フィルハーモニー交響楽団に入団、2013年3月まで首席オーボエ奏者を務め現在名古屋フィルハーモニー交響楽団団員。</p> <p>NHK交響楽団、京都市交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、京都フィルハーモニー室内合奏団、ザルツブルグユングェフィルハーモニー、ワルシャワカンマーフィルハーモニー等の客演奏者として活躍。また、ソリストとしては名フィルの定期演奏会や日本センチュリー交響楽団、ザルツブルグ・カンマーフィルハーモニーなど多数のオーケストラとR.シュトラウスのコンチェルトやマルティヌーのオーボエ協奏曲、モーツァルトのコンチェルト、オネゲルなどその他多数の協奏曲を協演。他多数のオーケストラと協演。またナバッコ作曲『オーボエ協奏曲「レガシー」』を名古屋フィルハーモニー交響楽団と日本初演を果たす。</p> <p>中華人民共和国では北京の北京中央音楽院をはじめ天津、武漢、西安で循環呼吸を駆使するソロを演奏した。</p> <p>室内楽の分野ではピアニスト、シプリアン・カツァリスとのウィーン楽友協会大ホールにて室内楽を共演した。さらに、ルクセンブルグ国際エヒターナッハ音楽祭、オーストリアカリンティッシャー夏の音楽祭、キプロス共和国インターナショナルフェスティバルニコシアなどの音楽祭に出演、ドイツ、フランス、スロベニア、オーストリア、中国、韓国、キプロス、ハワイなど世界各地で活躍する。</p> <p>近年では韓国での活動にも舞台を広げ、2006年には韓国プサンで釜山市立交響楽団のファゴット奏者チャン・ジョンホ氏とデュオ・リサイタルを2007年には韓国、東儀大学でマスタークラスに招聘されるなど後進の指導にも力を入れ毎年韓国での演奏活動も継続的に行っている。2015年9月には釜山国際音楽祭に出演しアジアフィルとコンチェルトを共演し2018年には済州島にて済州管楽音楽祭に出演した。</p> <p>これまでにオーボエをローター・コッホ(元ベルリンフィル首席)、ギュンター・パッシン(元ベルリン放送響首席)、岩崎勇の各氏に師事。また、インゴ・ゴリツキ(シュトゥットガルト音大教授)のマスタークラスにも度々参加。室内楽をラドバン・プラトコヴィッチ(ホルン)、アロイス・ブランドホーファー(クラリネット)、リヒャルト・ガラー(ファゴット)の各氏に師事。</p> <p>2008年度音楽之友社発行、バンドジャーナル誌のワンポイントレッスンを一年間担当執筆する。2010年3月NHK-FM「名曲リサイタル」出演などラジオ出演テレビ出演も多数。</p> <p>津山国際音楽祭ダブルリードコンクール第一位(優勝)受賞。ベルリンフィル首席オーボエのオーディションに招待されベルリンフィルの本拠地のフィルハーモニーで演奏。ザルツブルグ・ユードイ・メニュール室内楽コンクール特別賞。愛知県立明和高校音楽科非常勤講師。名フィル団員による木管五重奏団クインテット・アヴァロンメンバー</p> <p>毎コン、日本音楽コンクールオーボエ部門ならびに日本クラシック音楽コンクール審査員を務める。</p> <p>後進の指導にも定評があり日本各地で指導教育活動を行い日本クラシック音楽コンクールより優秀指導者賞を2度授与される。</p> <p>2013年10月よりマリゴオーボエ公式アドバイザー 指揮者としては日本クラシックコンクールの入賞者披露演奏会で日本クラシックオーケストラを3年連続指揮するなどプロの指揮者としての活動も行っている。</p> <p>2015、2016ダグラスポスト東京指揮セミナーに参加。指揮をダグラス・ポスト氏に師事。</p>	<p>安原 太武郎 先生</p> <p>東京音楽大学附属高等学校を経て、東京音楽大学卒業。ドイツ・カールスルーエ音楽大学、大学院修了。第15回かながわ音楽コンクール管楽器部門総合第1位。小澤征爾音楽塾オペラプロジェクト「ドン・ジョバンニ」、ロストロポーヴィッチ・コンサートキャラバン2002、2005に参加。サイトウ・キネン・フェスティバル松本「ふれあいコンサート」に出演。アフィニス夏の音楽祭2011広島に参加。これまでに安原理香、小島葉子、宮本文昭、加納律子、トーマス・インディアミュレの各氏に師事。現在、セントラル愛知交響楽団1stオーボエ奏者。名古屋市立菊里高等学校音楽科、名古屋芸術大学、金城学院大学文学部音楽芸術学科非常勤講師。ドルチェ名古屋ミュージックアカデミー講師。</p>	<p>寺島 陽介 先生</p> <p>京都市出身。 相愛大学音楽学部在学中より大阪センチュリー交響楽団(現日本センチュリー交響楽団)客員奏者を務めプロとしての活動を始める。卒業後渡欧。オーストリア国立ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽大学卒業。在学中からザルツブルグ・ガーカンマーフィルハーモニーのオーボエ奏者を務め、数多いCD録音や演奏をヨーロッパ各地で演奏後5年間のヨーロッパ生活を終え2002年名古屋フィルハーモニー交響楽団に入団、2013年3月まで首席オーボエ奏者を務め現在名古屋フィルハーモニー交響楽団団員。</p> <p>NHK交響楽団、京都市交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、京都フィルハーモニー室内合奏団、ザルツブルグユングェフィルハーモニー、ワルシャワカンマーフィルハーモニー等の客演奏者として活躍。また、ソリストとしては名フィルの定期演奏会や日本センチュリー交響楽団、ザルツブルグ・カンマーフィルハーモニーなど多数のオーケストラとR.シュトラウスのコンチェルトやマルティヌーのオーボエ協奏曲、モーツァルトのコンチェルト、オネゲルなどその他多数の協奏曲を協演。他多数のオーケストラと協演。またナバッコ作曲『オーボエ協奏曲「レガシー」』を名古屋フィルハーモニー交響楽団と日本初演を果たす。</p> <p>中華人民共和国では北京の北京中央音楽院をはじめ天津、武漢、西安で循環呼吸を駆使するソロを演奏した。</p> <p>室内楽の分野ではピアニスト、シプリアン・カツァリスとのウィーン楽友協会大ホールにて室内楽を共演した。さらに、ルクセンブルグ国際エヒターナッハ音楽祭、オーストリアカリンティッシャー夏の音楽祭、キプロス共和国インターナショナルフェスティバルニコシアなどの音楽祭に出演、ドイツ、フランス、スロベニア、オーストリア、中国、韓国、キプロス、ハワイなど世界各地で活躍する。</p> <p>近年では韓国での活動にも舞台を広げ、2006年には韓国プサンで釜山市立交響楽団のファゴット奏者チャン・ジョンホ氏とデュオ・リサイタルを2007年には韓国、東儀大学でマスタークラスに招聘されるなど後進の指導にも力を入れ毎年韓国での演奏活動も継続的に行っている。2015年9月には釜山国際音楽祭に出演しアジアフィルとコンチェルトを共演し2018年には済州島にて済州管楽音楽祭に出演した。</p> <p>これまでにオーボエをローター・コッホ(元ベルリンフィル首席)、ギュンター・パッシン(元ベルリン放送響首席)、岩崎勇の各氏に師事。また、インゴ・ゴリツキ(シュトゥットガルト音大教授)のマスタークラスにも度々参加。室内楽をラドバン・プラトコヴィッチ(ホルン)、アロイス・ブランドホーファー(クラリネット)、リヒャルト・ガラー(ファゴット)の各氏に師事。</p> <p>2008年度音楽之友社発行、バンドジャーナル誌のワンポイントレッスンを一年間担当執筆する。2010年3月NHK-FM「名曲リサイタル」出演などラジオ出演テレビ出演も多数。</p> <p>津山国際音楽祭ダブルリードコンクール第一位(優勝)受賞。ベルリンフィル首席オーボエのオーディションに招待されベルリンフィルの本拠地のフィルハーモニーで演奏。ザルツブルグ・ユードイ・メニュール室内楽コンクール特別賞。愛知県立明和高校音楽科非常勤講師。名フィル団員による木管五重奏団クインテット・アヴァロンメンバー</p> <p>毎コン、日本音楽コンクールオーボエ部門ならびに日本クラシック音楽コンクール審査員を務める。</p> <p>後進の指導にも定評があり日本各地で指導教育活動を行い日本クラシック音楽コンクールより優秀指導者賞を2度授与される。</p> <p>2013年10月よりマリゴオーボエ公式アドバイザー 指揮者としては日本クラシックコンクールの入賞者披露演奏会で日本クラシックオーケストラを3年連続指揮するなどプロの指揮者としての活動も行っている。</p> <p>2015、2016ダグラスポスト東京指揮セミナーに参加。指揮をダグラス・ポスト氏に師事。</p>

## 各楽器の基礎奏法講座

### ファゴット

ファゴット			
	入門・初級編	中級編	上級編
Step1	楽器の組立(パーツの名称) 楽器の片付け・掃除の仕方・リードの説明	ブレス(呼吸)・アンブシュア(口の形) 発音・フィンガリング	ウォームアップ・基礎練習
Step2	楽器の構え方・呼吸法 アンブシュア・タンギング	ロングトーン・クレッシェンドディミヌエンドを 伴ったロングトーン・スケール	ミルデ:25の音階のエチュードを使った 難しいパッセージの練習の仕方・替え指について
Step3	音出し・簡単な運指による練習・ロングトーン	半音階・分散和音(アルペジオ)	リードについて
Step4	テヌート・レガート・スタッカート・ポルタート <教則本を用いて>	低音域・高音域, ppからff	運指について
Step5	大きな音<ff・f>, 小さな音<pp・p>の出し方 高音・低音の出し方	アーティキュレーション・ヴィブラート	今までの基礎練習の復習・総括
Step6	教則本を用いての簡単な音階練習 テナー記号の読み方, ウォーミングアップについて	これまでの総括・その他練習方法	曲の紹介・演奏
講師	<p style="text-align: center;">依田 嘉明 先生</p> <p>1988年武蔵野音楽大学を卒業し大学院に進学。1990年同大学院修了。その年に行われた宝塚ベガ音楽コンクール室内楽部門第2位。同年8月渡蘭。オランダ・スウェーリン音楽院に学ぶ。在学中ネーデルランド・ダブルリードアンサンブルのメンバーとしてヨーロッパ各地で公演。1992年帰国。1998～2002年までセントラル愛知交響楽団に首席奏者として在籍。2002年より名古屋芸術大学専任講師となる。現在は名古屋芸術大学・大学院教授及び三重県立白子高校吹奏楽コース非常勤講師として、後進の指導にあたっている。演奏活動においては、ソリストとして、2013年セントラル愛知交響楽団とモーツァルトの協奏交響曲, 2014年と2016年にウクライナ・チェルニーゴフフィルハーモニー交響楽団とR. シュトラウスの二重小協奏曲, ヴィヴァルディのファゴット協奏曲, 2015年北名古屋シティ管弦楽団とヴェーバーのファゴット協奏曲の演奏を行った。その他オーケストラの客演奏者や室内楽, また岐阜県交響楽団や大垣室内管弦楽団等のトレーナーなど, 幅広く活躍中。これまでにファゴットを谷島卓, 岡崎耕治, 山知馨, ローランド・スモール, ジョン・モスタード, またアフィニス夏の音楽祭にてフォスカー・テスマンの各氏に師事。 ↓質問はこちらまで↓ fg-yodacchi@nua.ac.jp</p>	<p style="text-align: center;">大津 敦 先生</p> <p>1976年, 岐阜県大垣市出身。3歳よりピアノを, 18歳よりファゴットを始める。名古屋音楽大学音楽学部音楽学科卒業。大学卒業後フリー奏者として活動し, 2003年にドイツへ留学。国立フライブルク音楽大学/大学院ファゴット専攻修了。在学中よりドイツ, フランス, スイスの各地でソロ, 室内楽, オーケストラの演奏会に出演。大学院修了後, 国立フライブルク歌劇場管弦楽団にて契約団員を務め, 2007年に帰国。同年セントラル愛知交響楽団入団。現在同楽団ファゴット奏者としての演奏の傍ら, ソロ, 室内楽の演奏活動, また後進の指導にも力を入れている。これまでにファゴットを伊藤武, 大須賀達也, 青谷良明, 小山昭雄, 前田信吉, カール・オットー・ハルトマン, シュテファン・シュヴァイゲルト, クラレンス・ポーターの各氏に, コントラファゴットをアンゲラ・ベルクマン氏に師事。 金城学院大学, 名古屋音楽大学非常勤講師。豊田ジュニアオーケストラ指導者。愛知県東海市の自宅にてファゴット教室を開催。</p>	<p style="text-align: center;">ゲオルギ・シャシコフ 先生</p>

## 各楽器の基礎奏法講座

クラリネット			
	入門・初級編	中級編	上級編
Step1	楽器の組立方・呼吸法	基本 (音を出す前に、音を出すときに)	姿勢・アンブシュア・呼吸法について
Step2	構え方・アンブシュア	ウォーミングアップで取り組んでほしいスケール	リードについて
Step3	音出し・運指を覚えよう	アタック・スタッカート・舌の使い方	タンギング・レガートについて
Step4	指の形・ロングトーン	アーティキュレーション	正しい指の形・フィンガリング
Step5	スケール	フレーズ・テクニック	スケールやアルペジオ 高い音を安定させる練習
Step6	タンギング・毎日の練習	変化を聴く	クラリネットに関してよくある質問
講師	<p style="text-align: center;">岡村 理恵 先生</p> <p>東京藝術大学音楽学部器楽科卒業。 桐朋オーケストラ・アカデミー研修課程修了。岐阜市民芸術祭新進演奏家コンサート、東京文化会館新進演奏家コンサート出演。リスト音楽院マスタークラス、アフィニス夏の音楽祭参加。2008年8月にCD「Clarinet SEVEN'S」をリリース。クラリネットを朝田文子、海鋒正毅、村井祐児、鈴木良昭の各氏に師事。室内楽を三界秀実、渡辺健二の各氏に師事。 現在、セントラル愛知交響楽団契約団員、名古屋音楽大学非常勤講師、同期高校音楽科非常勤講師、大垣女子短期大学非常勤講師。ドルチェミュージックアカデミー講師。</p>	<p style="text-align: center;">箱崎 由衣 先生</p> <p>セントラル愛知交響楽団1stクラリネット奏者。ピュッフェ・クランボン契約講師。 プライベートレッスンのお問い合わせはホームページからどうぞ。 <a href="https://flute00.wixsite.com/website-2">https://flute00.wixsite.com/website-2</a></p>	<p style="text-align: center;">橋本 真介 先生</p> <p>香川県出身。高松第一高等学校音楽科、武蔵野音楽大学を卒業後、シエナウインドオーケストラを経て、広島交響楽団に入団。NHK-FM洋楽オーディション合格。NHK-FMリサイタル出演。1995年よりロータリー財団奨学生としてドイツ国立リュベック音楽大学に留学、クラリネットをザビーネ・マイヤ教授に師事。同大学修了試験を最高点で卒業。1997年帰国し同楽団に復帰。以後、NHK交響楽団等主要オーケストラに首席客演奏者として出演。ソリストとしては1992年～2016年に渡り度々広響とモーツァルトの協奏曲等を共演。主宰する広島クラリネットアンサンブルより「タナトス」「チャールダシュ」「暁の変容」の3CDを(株)ブレンよりリリース。第30回広島県民文化奨励賞受賞。全国各地でのクリニック、国際コンクール、吹奏楽コンクールやアンサンブルコンテスト等の審査など幅広く活動。現在、名古屋音楽大学准教授、エリザベト音楽大学、明和高校音楽科各非常勤講師、ヤマハオフィシャルクラリネットアーティスト、日本クラリネット協会理事、広島クラリネットアンサンブル主宰、なにわオーケストラルウィンズ、CrazyClassixメンバー。</p>

## 各楽器の基礎奏法講座

サクソフォン			
	入門・初級編	中級編	上級編
Step1	各部の名称・楽器の組立 楽器の置き方・音を出してみよう	姿勢と呼吸法・アンブシュア・ロングトーン	ヴァリエーション・オブ・ウォーミングアップ
Step2	リードの取付・音出し・アンブシュア・構え方	スケールの練習ポイント 強弱・アタック・フィンガリング・テヌートタンギング	タンギング・高音域・低音域のアプローチ
Step3	ロングトーン・簡単な音階	全調スケール 長調編	音階と分散和音の世界
Step4	半音階の運指とロングトーン	全調スケール 短調編	フェルリング「48のエチュード」への挑戦
Step5	タンギングの練習法	アーティキュレーション	独奏曲や現代音楽から学ぶ、上級テクニック、特殊奏法
Step6	普段の基礎練習・音程コントロール	半音階を使ったリズム練習・ヴィブラート まとめ〜ラクルのエチュードに挑戦	上達のススメ
講師	<p style="text-align: center;">遠藤 宏幸 先生</p> <p>岐阜市出身。東京コンセルヴァトアール尚美を首席で卒業、同校卒業演奏会に出演。同校ディプロマコースを修了。サクソフォンを石渡悠史、岩本伸一、雲井雅人の各氏に師事、室内楽を、服部吉之、服部真理子の両氏に師事、指揮法を橋本久喜氏に師事する。2001年岐阜メルサホール、2003年、2004年、2013年名古屋ザ・コンサートホールに於いてソロリサイタルを開催。参加するアリオン・サクソフォン・カルテットが2014年にCDアルバム「アリオンの琴歌」(FLCP-21027)をリリース、2016年には10周年を記念して全国10都市11公演の全国ツアーを行なった。 サクソフォン奏者であると共に指揮者、吹奏楽指導者としても、多くのアマチュアバンドを指導しておりコンクールや演奏会において多くの成果を上げている。大垣女子短期大学准教授を経て現在、名古屋芸術大学准教授、ウィンドアンサンブルGAJA代表、Unità“Della”Sax代表、ルロウプラスオルケスター指揮者。初代ナゴヤサクソフエスタ実行委員長。</p>	<p style="text-align: center;">小森 伸二 先生</p> <p>岐阜市出身。1996年名古屋音楽大学卒業。2001年フランスのセルジー・ポントワーズ国立音楽院卒業。 2000年パリのレオポルド・ベラン・コンクール優勝。 アリオン・サクソフォン・カルテットのメンバーとして、2006年から東海地方を中心に全国各地で公演。2014年にCD「Arion's Harp」(FLCP-21027)をリリース。2017年には初のソロアルバム「FUMPABUMPA」(FLCP-21056)を発表し好評を博す。 また2008年より、かかみがはらウインドオーケストラの指揮者としても活動している。 これまでにサクソフォンを櫻桜井牧男、亀井明良、小串俊寿、アラン・ジュッセ、ニコラ・プロスト、ジャン＝イヴ・フルモー各氏に師事。 名古屋音楽大学、金城学院大学、同朋高校音楽科の各非常勤講師。植村楽器、ドルチェミュージックアカデミーの各講師。</p> <p>Facebook <a href="https://www.facebook.com/shinji.komori.9">https://www.facebook.com/shinji.komori.9</a> Twitter <a href="https://twitter.com/shinjikomori">https://twitter.com/shinjikomori</a></p>	<p style="text-align: center;">堀江 裕介 先生</p> <p>質問はホームページやTwitterのDMで随時受付中。 HP <a href="https://www.barquesax.com">https://www.barquesax.com</a> Twitter @bachorie912</p>

## 各楽器の基礎奏法講座

### ホルン

	入門・初級編	中級編	上級編
Step1	上達する心構え・楽器の組立と手入れ 音が出る仕組みとマウスピース	姿勢・楽器の構え方 右手の形、ポジション・アンブシュア	ウォーミングアップ・呼吸法・ロングトーン
Step2	呼吸法・楽器の構え方・運指・ホルンの魅力	響きのある音で演奏するには(プレストレーニング 歌を使った練習・ロングトーン)・楽器のチューニング	発音の仕組み・さまざまなタンギング・リップスラー
Step3	「ふるさと」に挑戦・運指・タンギング・スラー	リップスラー中音域・シラブル・ソルフェージュ	スケール・ダイナミクスとそれにおけるブレスコントロール ppとffのつくり方
Step4	チューナーの使い方・リップスラー タンギングの種類・ロングトーン	リップスラー 低音域・高音域	フィンガリング、ハイトーンとロートーン さまざまなリップスラー
Step5	上達するためのウォームアップ 低い音・高い音	タンギング・ダブルタンギング ニュアンスの変化を付けるには	アーティキュレーション・小品ソロ・エチュード
Step6	音階・「ドラえもん」に挑戦・高い音の練習方法	アーティキュレーション・ウォーミングアップ エチュード・簡単なソロ曲	練習曲・ソロ協奏曲・音色のつくり方
講師	<p style="text-align: center;">八木 健史 先生</p> <p>12歳で吹奏楽部に入り、ホルンを始める。 愛知県立芸術大学、ならびに、リヒャルト・シュトラウス音楽院研究科卒業。 現在、セントラル愛知交響楽団ホルン奏者。 金城学院大学非常勤講師。名古屋芸術大学非常勤講師。 YouTubeチャンネルを持っています。 ホルンの八木ちゃんねる チャンネル登録お願いいたします↓ <a href="https://www.youtube.com/channel/UC51j...">https://www.youtube.com/channel/UC51j...</a> 特に、いい音について語っている動画は見ていただきたいと思えます↓ <a href="https://youtu.be/z5QNPQUwX5o">https://youtu.be/z5QNPQUwX5o</a></p>	<p style="text-align: center;">津守 隆宏 先生</p> <p>東京音楽大学卒業。東京文化会館新進音楽家デビューコンサートに出演。ホルンを松崎裕、岡本充代、日高剛、L.M.ストランスキー、E.テルヴィリガーの各氏に師事。シエナ・ウインド・オーケストラ楽団員を経て、名古屋フィルハーモニー交響楽団楽団員。名古屋音楽大学、名古屋芸術大学、各非常勤講師。</p>	<p style="text-align: center;">安土 真弓 先生</p> <p>1981年、石川県能美市辰口町生まれ。 能美市立辰口中学校、小松市立高等学校、東京藝術大学音楽学部卒業。 第77回日本音楽コンクール第2位、ならびにコンクール全部門の中から最も印象的な演奏に贈られる増沢賞を女性金管奏者として初の受賞、聴衆の投票による岩谷賞も併せて受賞。 ホルンを故・千葉馨、松田俊良、金星真、守山光三、松崎裕、石川博達、日高剛の各氏に師事。 2005年名古屋フィルハーモニー交響楽団入団、現在、首席ホルン奏者。 名古屋音楽大学非常勤講師。 The Horn Quartett メンバー。 The Horn Quartett CD『Sperklng Horns!』発売中。 ★SNS関係★ YouTube→ <a href="https://www.youtube.com/c/mayumianzuchi">https://www.youtube.com/c/mayumianzuchi</a> Twitter→ <a href="https://twitter.com/weisser_apfel">https://twitter.com/weisser_apfel</a> Instagram→ <a href="https://instagram.com/weisser_apfel">https://instagram.com/weisser_apfel</a></p>

# 各楽器の基礎奏法講座

## トランペット

	入門・初級編	中級編	上級編
Step1	楽器の組立・楽器の説明・掃除の仕方 お手入れ方法・マウスピースでの練習	ウォーミングアップ(バジング・チコピッツ)	トランペットを練習していく上での概説
Step2	音を出すための呼吸・楽器の構え方 置き方・アンブシュア・音出し	呼吸法・低音域のロングトーン&フィンガリングの練習	姿勢・ブレスコントロール・構え方
Step3	楽器を吹く前にやっておくこと ロングトーン・タンギング・運指	低音域から中音域のロングトーンとリップスラー 教本の紹介	脱力・ロングトーン
Step4	リップスラー・スケール	音域を広げるための音階練習	タンギング
Step5	デイリートレーニング	音階を使ったタンギング練習	リップスラー
Step6	楽器を使ったデイリートレーニング	曲の練習の仕方	特殊奏法
講師	<p>赤堀 裕之史 先生</p> <p>岐阜出身。高校からトランペットを始め、2年次、3年次と全日本高校生ソロコンテストに出場。優秀賞。愛知県立芸術大学卒業。同大学卒業演奏会、岐阜県新人演奏会、オーディションによる新進演奏家コンサートに出演、小澤征爾音楽塾に参加。同大学の大学院修士課程を修了後、渡独しワイマールにあるフランクフルト音楽大学にて研鑽を積む。在学中、ブラウンシュヴァイク州立歌劇場において学生契約として一年間の演奏業務に参加。さらに各地の教会やオーケストラなどで演奏活動を行う。兵庫芸術文化センター管弦楽団のオーディション合格を機に帰国。その後、1年半在籍。現在は、中部フィルハーモニー交響楽団団員、一宮市消防音楽隊団員、金管5重奏『ブラシカル』、金管5重奏『Lovross』メンバー、岐阜市立岐阜清流中学校吹奏楽部講師、岐阜県立岐山高等学校吹奏楽部講師、岐阜県立加納高等学校音楽科非常勤講師。愛知県立芸術大学博士後期課程修了。博士(音楽)号取得。これまでにトランペットを、宮ノ下佳彦、武内安幸、ウヴェ コミシケの各氏に、室内楽を武内安幸、安元弘行、露木薫、ワルター・ヒルガースの各氏に師事。</p>	<p>上田 じん 先生</p> <p>京都市に生まれ、12歳よりトランペットを始める。15歳より京都市交響楽団トランペット奏者である、早坂宏明氏に師事。京都市立堀川高等学校音楽科分校では藏野雅彦氏に師事し、東京藝術大学音楽学部では北村源三氏に師事する。在学中より金管五重奏団BuzzFiveを主宰し、室内楽を福川栄一、栗田雅勝、神谷敏の各氏に師事した。大学を卒業後の2000年10月に行われた、第69回日本音楽コンクールトランペット部門で第一位、松下賞を受賞し、これを機にオーケストラ奏者としても本格的に活動を始める。2001年にはBuzzFiveとして、ジャパンプラスコンペティション2001にて、第一位、大賞、川崎市長賞、洗足学園賞を受賞する。2002年にシエナ・ウインド・オーケストラに入団。2004年に京都パロックザールにて行ったリサイタルが評価され、平成16年度青山音楽賞受賞。2007年には東京シティ・フィルに入団し、2015年まで一番奏者を務める。平成21年度(2009年)新進芸術家海外研修制度(文化庁)研修員としてワイマール・フランクフルト音楽院に留学し、トランペットをUwe Komischke氏に室内楽をWalter Hilgers氏に師事する。帰国後の2012年には東京オペラシティリサイタルシリーズB→C出演し、講評を博す。これまでに東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、セントラル愛知交響楽団と協奏曲を共演。2004年ソロアルバム「カレイドスコープ」2006年「テレスコープ」2013年「マイクロスコープ」をそれぞれ発表する。現在もシエナ・ウインド・オーケストラ契約団員、金管五重奏団BuzzFiveリーダー、東京トランペットカルテット、京都トランペットグループサマーブリーズ各メンバー、ズーリアンプラススーパーバイザー。2017年4月より名古屋音楽大学専任講師として名古屋に移住するが、洗足学園音楽大学の講師も兼務している。近年は教則本などの執筆にも力を注ぎ、2018年11月に「読むだけでトランペットがうまくなる本」を出版する。スタジオプレイヤーとしても活動し、CM、ゲーム音楽、ドラマBGMを始め、TVアニメ「響けユーフォニアム」の高坂麗奈のトランペットを担当し注目された。</p>	<p>井上 圭 先生</p>

## 各楽器の基礎奏法講座

トロンボーン			
	入門・初級編	中級編	上級編
Step1	楽器の組立から音出しまで！	呼吸法・ロングトーン・タンギング	ブレス、バズィング、基礎練習
Step2	基礎練習の考え方・基礎練習	スラーとテヌート・スライディング	前回の基礎練習を生かしたウォームアップ (フレキシビリティ)、音程補正
Step3	発展的な基礎練習	スケール～低、高の音域の広げ方・スタッカート	スケール～低、高の音域の広げ方 スライディング・低音域の練習
Step4	音程補正・ウォームアップ	リップスラー・クレッシエンドディミヌエンド	インターバル・メロディーの練習
Step5	アーティキュレーション	メロディアスエチュードNo.4を使った音色や音楽表現 アーバンを使ったインターバル練習	ギルマン／交響的小品の解説
Step6	エチュード	リムスキー・コルサコフ／トロンボーン協奏曲の解説 トリプル、ダブル、タンギングの練習	更なるレベルアップ
講師	<p style="text-align: center;">香川 慎二 先生</p> <p>名古屋フィルハーモニー交響楽団首席トロンボーン奏者。 広島県出身。東京芸術大学卒業。卒業時に東京芸術大学音楽学部同声会新人賞受賞。 日演連推薦新人オーディション合格、広島交響楽団と共演。 東京文化会館新進音楽家オーディション金管部門合格、同デビューコンサート出演。 東京芸術大学モーニングコンサート出演、芸大フィルハーモニアと共演。 第23回日本管打楽器コンクールトロンボーン部門 第2位(第20回 第3位) CD「7人のトロンボーン奏者によるソロ曲集 Vol.2」に参加。 これまでにトロンボーンを小林泰一郎、伊藤清、栗田晃の各氏に、室内楽を稲川榮一氏に師事。 神奈川フィルハーモニー管弦楽団契約奏者を経て、2009年に名古屋フィルハーモニー交響楽団へ入団。 現在名古屋トロンボーン協会副会長。ドルチェ楽器、パルドン楽器各ミュージックアカデミー講師及び、名古屋芸術大学、名古屋音楽大学、各非常勤講師。 Facebook, Instagram, Twitterのアカウントがあります。動画への質問・メッセージなどがあれば、そちらで受け付けておりますので気軽に送ってください。</p>	<p style="text-align: center;">田中 宏史 先生</p> <p>名古屋フィルハーモニー交響楽団首席トロンボーン奏者。 名古屋トロンボーン協会会長。 山口県出身。広島音楽高校、武蔵野音楽大学卒業。インディアナ大学P.D.科修了。1993年国際トロンボーン協会主催トロンボーン・コンペティション第3位。 トロンボーンを、岡本繁邦(広島交響楽団)、木下利男(NHK交響楽団)、J. ドムス(ベルリン・フィル)、M.D.ステュワート(フィラデルフィア管弦楽団)の各氏に師事。 主宰するArt in Trombonesをはじめ、Emsemble TURB, ETQ, The New Twitches, Trombone Nation など、オーケストラ以外の活動も積極的に行なっている。 またソリストとしても名古屋フィル、フランクフルト管楽フィルハーモニーをはじめ、オーケストラや吹奏楽団と数多く共演。 これまでにソロCD「Happy-Go-Lucky!」「Walking on Air」を、また今年(2020年)5月に最新アルバム「Wish Upon a Trombone」をリリース。 それぞれ絶賛発売中です！(8/30発売記念コンサート予定！)</p>	<p>Step1・2・6：香川 慎二 先生 Step3・4・5：田中 宏史 先生</p> <p>各先生方のプロフィールは、左側の欄に掲載しています。</p>

## 各楽器の基礎奏法講座

ユーフォニアム			
	入門・初級編	中級編	上級編
Step1	楽器の扱い方・8拍のロングトーン・2音のスラー	レミントンのロングトーンを使った少し高度なロングトーン コンペセイティングシステムについて	自分自身の先生になろう・プレスについて・息のトレーニング・半音階をマスターしよう・タンギングについて
Step2	スラー・2分音符と4分音符のタンギング	レミントンのタンギングとリップスラーの紹介	よい音の条件・柔軟性・タンギング・フィンガリング
Step3	上の音域のロングトーン・動きを付けたスラー	ビブラートの練習方法と効果的な使い方	タンギング・リップスラー・アルペジオ・高音域
Step4	音階のロングトーン・リップスラーに向けて 4分音符と8分音符のタンギング	アーティキュレーション	音質向上のための バズィング・ロングトーン
Step5	リップスラーについて	スケールについて、短調の種類の説明 タンギングとスケールを一緒に練習する方法 スケールがもたらしてくれる良いことについて	ウォームアップ・総合練習
Step6	リップスラー・音階を使ったタンギング	ソロ演奏について	ヴィブラート・クレッシェンド、ディミニエンド 高音域の練習
講師	<p style="text-align: center;">櫻本 明日実 先生</p> <p>名古屋芸術大学音楽学部器楽科卒業、同大学研究生修了。これまでユーフォニアムを三浦徹、柴田道夫、露木薫の各氏に師事。現在、マスターズ・プラス・ナゴヤ、Wind Ensemble GAJA 各メンバー、衣浦東部広域連合消防局音楽隊講師。また演奏活動の他に、後進の指導も積極的に行っている。名古屋芸術大学 非常勤講師。</p>	<p style="text-align: center;">小久保 まい 先生</p> <p>金城学院大学 非常勤講師 <a href="https://www.maikokubo.com/">https://www.maikokubo.com/</a></p>	<p style="text-align: center;">露木 薫 先生</p> <p>東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。在学中、第3回日本管打楽器コンクール第3位入賞。芸大モーニング・コンサートに出演。卒業時には同大学同声会新人演奏会、ヤマハ新人演奏会に出演。同大学院音楽研究科に入学後渡仏、パリ国立高等音楽院にユーフォニアムでは日本人として始めて入学し、審査員全員一致の一等賞にて卒業。在学中、第6回日本管打楽器コンクール第1位入賞。ソリストとして、また吹奏楽や管弦楽でのユーフォニアムやバス・トランペットのエキストラ奏者として数多くのコンサートやレコーディングで演奏している。現在は名古屋音楽大学教授、洗足学園音楽大学客員教授、東京芸術大学・愛知県立芸術大学講師を勤めている。</p>

## 各楽器の基礎奏法講座

### チューバ

チューバ			
	入門・初級編	中級編	上級編
Step1	チューバについて・楽器の出し方・掃除とお手入れ	呼吸法とウォームアップについて	呼吸法・バズィングについて
Step2	マウスピースで音出し・アンブシュア・姿勢・呼吸法	ロングトーンと低音域の練習	フィンガリング(運指)を用いたスラー・ロングトーン
Step3	ロングトーン ノータンギングで	タンギングとスケール①	リップスラーについて
Step4	楽譜の読み方 音楽用語	スケール②とリップスラー	スケール, アルペジオを使って音域を拡大しよう!
Step5	タンギング	演奏上のトラブルを感じたら	ウォームアップ デイリートレーニングのメニューについて
Step6	スラー	お勧めエチュード中級編	エチュード紹介
講師	<p style="text-align: center;">加藤 日名子 先生</p> <p>愛知県岡崎市出身。 光ヶ丘女子高等学校卒業。 名古屋芸術大学音楽学部器楽科卒業。 チューバを亀山吉彦、柴田道夫両氏に師事。 現在、一宮市消防音楽隊囃子演奏員、プラスアンサンプル・ロゼ、マスターズ・プラス・ナゴヤ、東海フィルハーモニー交響楽団等所属。 演奏の傍ら各コンクールの審査員や後進の指導も積極的に行っている。 榎山フィルハーモニーオーケストラ講師。 ドルチェ楽器ドルチェアカデミー講師。 東海市子供オーケストラ講師。 名古屋芸術大学講師。</p>	<p style="text-align: center;">谷口 史洋 先生</p> <p>広島市出身。愛知県立芸術大学音楽学部を経て、2000年同大大学院修了。 大学院在学中に大幸財団丹羽奨励賞を受賞。広島市新人演奏会、読売中部新人演奏会に出演。大学院修了と同時に中部フィルハーモニー交響楽団に入団し、10年以上にわたってチューバ奏者として活動。現在はフリーのチューバ奏者としてオーケストラ、吹奏楽、室内楽など幅広く演奏活動を行う傍ら、スクールバンドや市民吹奏楽、オーケストラのトレーナーとして後進の指導にもあたっている。 チューバをこれまで安元弘行、小林泰一郎の各氏に、室内楽を安元弘行、中川良平の各氏に師事。J.B. ラーセン、F. クーリー、R. マーティンの各氏のマスタークラスを受講。 名古屋アカデミックウインズ、マスターズ・プラス・ナゴヤ、金鯱プラスクインテット、メビウス・プラスクインテット、東海プラスシンフォニー各メンバー。 三重県立白子高校文化教養コース、岐阜県立加納高校音楽科各非常勤講師。第6～9回ユーフォニアム&amp;チューバフェスティバル in Nagoya 実行委員長。</p>	<p style="text-align: center;">林 裕人 先生</p> <p>1990年神奈川県生まれ。 12歳の時にチューバを始める。 2009年、横浜市立櫻丘高等学校を卒業後、東京藝術大学音楽学部器楽科に入学。 2012年、在学中に公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団入団。 2013年、同大学卒業。卒業時にアカンサス音楽賞、同声会新人賞を受賞。同声会新人演奏会出演。 2013年12月、東京にて初のソロリサイタルを開催。 2014年5月、名古屋フィルハーモニー交響楽団第413回定期演奏会にてRalph Vaughan Williams作曲、チューバ協奏曲を当時常任指揮者のMortyn Brabbins氏と共演。また、2014年9月にはチェコ共和国のプラハ市で開催されるヤング・ブラハ国際音楽祭にソリストとして招かれている。 吹奏楽誌『バンドジャーナル』のワンポイントレッスン講師を担当。 公益財団法人アフィニス文化財団の海外研修助成を受け、2017年9月より1年間、ドイツ・ミュンヘンへ留学。留学中にMariss Jansons氏指揮のバイエルン放送交響楽団に客演。同オーケストラのハンブルク、エルプフィルハーモニー公演のツアーに参加。2018年8月帰国。 第9回日本Jr管打楽器コンクールチューバ部門金賞(第1位)、第30回日本管打楽器コンクールチューバ部門入選。 現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団チューバ奏者。 愛知県立芸術大学、名古屋音楽大学各非常勤講師。 Legacy Brass Quintet, The Labor Brass, Infinity Tuba Quartet各メンバー。 Jens Bjorn Larsenのマスタークラスを受講。 これまでにチューバを稲川榮一、八尾健介、牛尾正明、Stefan Tischler, Walter Hilgersの各氏に、室内楽を稲川榮一、秋山鴻市の各氏に師事。</p>

## 各楽器の基礎奏法講座

コントラバス			
	入門・初級編	中級編	上級編
Step1	コントラバスを触ってみよう(弓を張る・松脂を塗る 楽器を構える・音を出す・チューニングをする)	楽器と弓の取り扱い方・楽器の構え方	楽器の状態・弓の張り具合・姿勢・ロングトーン
Step2	弓の運び方とハーフポジション・第一ポジション	右手, 左手の基本	左手の強化・重音
Step3	スケールを弾いてみよう①	右手, 左手の基本の応用・ピッチカート	右手のテクニック(移弦)
Step4	スケールを弾いてみよう②	特殊奏法	右手のテクニック (レガート・遅いテンポ・付点とレガート)
Step5	スケールを弾いてみよう③	低い音の簡単なエチュード	遅いエチュード
Step6	スケールを弾いてみよう④	ピッチカートの実演	速いエチュード
講師	<p style="text-align: center;">青山 小枝 先生</p> <p>光ヶ丘女子高等学校吹奏楽部でコントラバスに出逢う。名古屋音楽大学器楽科卒業。同大学卒業演奏会出演。2000年ローマ国際音楽祭出演。ミラノ・スカラ座メンバーと演奏会を開催('05, '06)。これまでにリサイタル開催('13, '14, '16)。田中伸幸, 村上満志, 黒木岩寿の各氏に師事。名古屋二期会オペラ管弦楽団所属。名古屋市立菊里高等学校音楽科非常勤講師。優しいコントラバスの音で上質なうたた寝をして頂く癒しのソロコンサートを映画館で開催('19)。</p>	<p style="text-align: center;">加藤 正幸 先生</p> <p>千葉県船橋市出身。小学4年に器楽クラブでコントラバスを始める。 1978年武蔵野音楽大学に入学。 81年新星日本交響楽団に入団, 82年武蔵野音楽大学卒業。 2001年に新星日本交響楽団と東京フィルハーモニー交響楽団が合併し副首席奏者を務める。 13年3月末に東京フィルハーモニー交響楽団を退団。現在は、各地のオーケストラのゲストトップやエキストラ, シェーナウインドオーケストラ, 東京吹奏楽団, 室内楽, スタジオ演奏等と千葉県少年少女オーケストラ, トヨタ青少年オーケストラキャンプの講師として若い人達にコントラバスとオーケストラの楽しさを指導している。 弦楽器マガジン『サラサテ』(せきれい社)の「低音ジャーナルBass Q?→A!HYPER」も好評連載中。 故 檜山薫, 太田考の両氏に師事。</p>	<p style="text-align: center;">佐渡谷 綾子 先生</p> <p>神奈川県相模原市出身。6歳よりピアノを習い, 9歳でコントラバスを始める。東京音楽大学付属高校を経て, 東京藝術大学音楽学部を卒業。第15回宝塚ベガ音楽コンクール入賞。第3回秋吉台音楽コンクール コントラバス部門第1位, および総合優勝である山口県知事賞受賞。2016年5月にコントラバスリサイタルを南麻布セントレホールで開催。小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトや, パシフィックミュージックフェスティバル, 東京オペラの森に参加。また, 山田和樹率いる横浜シンフォニエッタや, 故田中千香士のもと集まったレボリューションアンサンブルにも出演。2015年1月1日より, 名古屋フィルハーモニー交響楽団のコントラバス奏者として活動, 現在首席奏者。またバンドジャーナルのワンポイントレッスンを2020年5月から1年間担当。今までに永島義男, 西田直文, 山本修, 黒木岩寿, 斎藤順の各氏に師事。名古屋芸術大学非常勤講師。</p>

## 各楽器の基礎奏法講座

### パーカッション

	小太鼓編	鍵盤打楽器編	ティンパニ・その他の打楽器編
Step1	スティックで演奏する前段階から	楽器(マリンバ, シロフォン, ヴィブラフォン, グロッケン, チャイム)・マレットについて	打楽器の特異性について
Step2	考え方, 基礎練習	鍵盤打楽器の魅力, 基礎奏法	ティンパニを用いて
Step3	基礎練習, ロール	各楽器ごとの奏法	ティンパニの基礎練習・ロール
Step4	ロール, 曲の紹介, 説明	4本のマレット, 特殊奏法	ティンパニのソロ曲・大太鼓
Step5	曲の続き, 紹介	マリンバの歴史	大太鼓・シンバル・その他の打楽器
Step6	ソロ曲の紹介	マリンバのこれから, ソロ曲の紹介	小物打楽器・ドラムの役割
講師	<p style="text-align: center;">窪田 健志 先生</p> <p>大阪府出身。4歳で初めてドラムに触れ、興味をもつ。ピアノや、中学から始めた吹奏楽部の打楽器を通じて音楽に親しみ、上田高校在学中に打楽器でご飯を食べていくことを決意。東京藝術大学を卒業後、同大学院修士課程を修了。N響、東京佼成ウインドオーケストラを始めとする在京オーケストラに賛助出演。ソウル、ドレスデン、北京等で演奏。「のだめカンタービレ」出演、演技指導、のだめオーケストラ打楽器奏者を経て、現在(公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団 首席打楽器奏者。バンドジャーナル「ワンポイントレッスン」や全日本吹奏楽コンクールの審査員なども請負う。CD「Percussion Pieces! ...from JAPAN-」絶賛発売中!</p>	<p style="text-align: center;">稲垣 佑馬 先生</p> <p>三重県出身。愛知県立明和高等学校音楽科を経て、東京音楽大学音楽学部器楽専攻を卒業。その後アメリカへ渡りさらに研鑽を積む。第18回KOBÉ国際コンクール入賞。大学在学中より新作初演に積極的に取り組み、室内楽曲を中心に数多くの作品を初演、クラシックにおける打楽器の新たな可能性を模索。マリンバ奏者としての活動を軸に、打楽器奏者としてオーケストラ等への賛助出演、現代音楽を演奏する室内楽の指揮など幅広く活動する。これまでに故石田まり子、故岡田真理子、藤本隆文、小森邦彦、Robert van Sice、Jeff Sternの各氏に師事。名古屋芸術大学非常勤講師。</p>	<p style="text-align: center;">窪田 健志 先生</p> <p>大阪府出身。4歳で初めてドラムに触れ、興味をもつ。ピアノや、中学から始めた吹奏楽部の打楽器を通じて音楽に親しみ、上田高校在学中に打楽器でご飯を食べていくことを決意。東京藝術大学を卒業後、同大学院修士課程を修了。N響、東京佼成ウインドオーケストラを始めとする在京オーケストラに賛助出演。ソウル、ドレスデン、北京等で演奏。「のだめカンタービレ」出演、演技指導、のだめオーケストラ打楽器奏者を経て、現在(公財)名古屋フィルハーモニー交響楽団 首席打楽器奏者。バンドジャーナル「ワンポイントレッスン」や全日本吹奏楽コンクールの審査員なども請負う。CD「Percussion Pieces! ...from JAPAN-」絶賛発売中!</p>